

令和2年12月9日

各 位

因島技術センター運営協議会
会 長 林 清 春



令和2年度因島技術センター配管艤装初級研修の研修生募集について（通知）

寒冷の候、貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より、当運営協議会の事業推進にあたり、格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、今年度も配管艤装初級専門技能研修を次のとおり開催しますのでご案内します。

記

1. 研修内容 配管艤装の初歩として、配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポートの取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについての知識と技能の習得を目指します。
2. 研修期間 令和3年 2月2日(火)～2月5日(金) *4日間
※ 研修生が少数の場合、2月3日(水)～2月5日(金)の3日間に変更する場合があります。但し、受講料に変更はありません。
3. 研修場所 内海造船株式会社重井工場（尾道市因島重井町 5800-92）
※一部、同社因島工場（因島土生町）で行う
4. 募集定員 定員10名 *希望者多数の場合、受講調整を行います。
5. 対象者 入社1年程度の造船技能者(溶接資格取得者が望ましい)
6. 受講料 因島技術センター運営協議会会員 35,000円/1人(テキスト・税込)
その他の全国募集生 52,500円/1人(テキスト・税込)
7. 申込期限 令和3年1月14日(木) *必着
8. 宿 泊 宿泊希望の場合は、各自で手配をお願いします。
*近隣の宿泊施設を案内しますので、ご相談ください。

連 絡 先

〒722-2392 広島県尾道市因島土生町 7-4
尾道市因島総合支所しまおこし課内
因島技術センター運営協議会事務局
担当：柏原一志
TEL 0845-26-6212 FAX 0845-22-2203

令和2年度因島技術センター配管艤装初級専門技能 実施概要

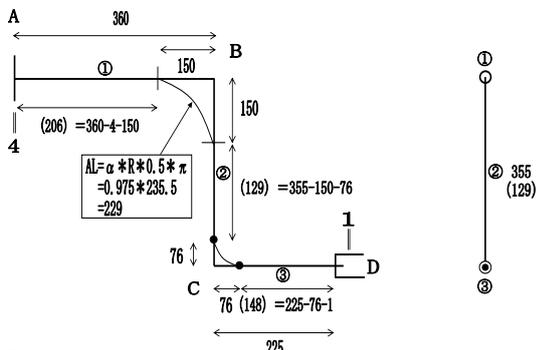
1. 期間 令和3年 2月2日(火)～2月5日(金) *4日間
※研修生少数の場合、2月3日(水)～2月5日(金) *3日間
2. 場所 内海造船株式会社重井工場(一部、同社因島工場)
3. 内容 本研修は、座学講義と実技研修で構成しています。
座学講義では、一般社団法人日本中小型造船工業会作成のテキストと映像教材を使用し、配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポート取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについての基本知識の習得を目指します。
実技研修では、フランジとスリーブ継手を有するZ型の管の施行と、L型の合わせ管の施工方法の習得を目指します。
4. 研修生 入社1年程度の造船技能者10名にて研修を行います。
5. 新型コロナウイルス対策について
研修開始2週間前から終了まで検温等の体調管理を行って頂く予定です。
詳細は、受講決定後にお知らせします。
6. その他 本研修は、認定職業訓練の認定訓練コースに認定されています。
人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金等)の申請につきましては、各都道府県労働局へお問い合わせください。

(参考)

実技研修用課題 管一品

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 辺番号 | (1) | (2) | (3) |
| 管材質 | SGP | **** | SGP |
| 外径 | 50 | **** | 50 |
| 外径 | 60.5 | **** | 60.5 |
| 厚み | 3.85 | **** | 3.85 |
| 標準長 | 150 | **** | **** |
| 切断寸 | 715 | **** | **** |
| マーキング | 206 | 564 | 715 |
| 辺長さ | 360 | 355 | 225 |

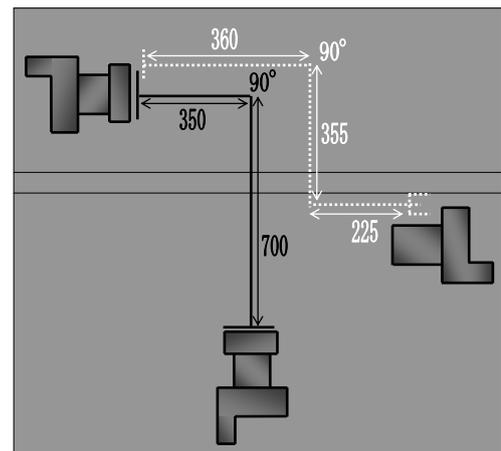
| 継ぎ手 | 材料 | 径 | 種 |
|------|----|------|--------|
| 継ぎ手 | 4 | **** | **** |
| 始点金物 | FL | 50 | SL |
| 継ぎ手 | 0 | **** | **** |
| 中間金物 | EL | 50 | ロング90° |
| 継ぎ手 | 0 | **** | **** |
| 終点金物 | SL | 50 | ショート |
| 継ぎ手 | 1 | **** | **** |



管:SGP、50A、外径=60.5、厚さ=3.8
 ベンダ:R=150、ツカミ代=110、曲げ代=229、差込代=250
 FLBOW:90°、ロング、R=76
 スリーブ:長さ50、抜き:1



実技研修用課題 合わせ管



因島技術センター受託研修生受入規定

制定 平成 15 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この規定は、因島技術センター（以下「本校」という。）における受託研修生の受入れについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規定に置いて「受託研修生」とは、企業等の研修委託の申請に基づき、本稿で研修生として受入れを許可された者をいう。

(申請)

第 3 条 企業等の長は、新規採用者、中途採用者等の研修を本校に委託しようとするときは、研修委託申請書（様式第 1 号）により、因島技術センター長（以下「センター長」という。）に願い出なければならない。

(許可)

第 4 条 センター長は、前条の願い出があったときは、本校の運営に支障がないと認められたもの限り、受託研修生として受入れを許可することができる。

(遵守義務)

第 5 条 受託研修生は、本校の諸規則を遵守し、センター長の指示に基づいて研修しなければならない。

(許可の取消等)

第 6 条 センター長は、受託研修生が前条の規定に違反し、又は受託研修生としてふさわしくない行為があった場合は、当該受託研修生の研修を停止させ、又は研修の許可を取り消すことができる。

(補則)

第 7 条 この規定に定めるもののほか、受託研修生に関して必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規定は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

様式第1号

年 月 日

因島技術センター長 様

所在地

事業者名

代表者氏名

⑩

研 修 生 委 託 申 請 書

このたび、貴校において当社職員を研修させたく、別紙研修生名簿を添えて申請いたしますので許可くださるようお願いいたします。

なお、許可のうえは、下記の事項を遵守いたします。

記

1. 研修に際しては、貴校の諸規定を遵守させるとともに、貴校の責任者の指示に従わせます。
2. 万一研修生の故意又は過失による事故等により、貴校に損害を及ぼした場合又は研修生が被災した場合は、当方が一切の責任を負います。

以上

令和2年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修申込書

企業

| | | | |
|---------|---|---------|---|
| 事業者名 | | | |
| 代表者氏名 | | | |
| 所在地 | | 〒 | |
| 資本金 | 円 | 従業員数 | 人 |
| 研修担当者所属 | | 研修担当者氏名 | |
| 電話番号 | | FAX 番号 | |
| メールアドレス | | | |

研修生

| | | | |
|---------------------|--|---|----|
| 雇用保険被保険者番号 | | | |
| フリガナ 研修生氏名 | | | |
| 生年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 年齢 | 歳 | | |
| 現住所 | 〒 | | |
| 電話番号 (自宅) | | | |
| 最終学歴 (学校名、学部、学科) | 学校 | 部 | 学科 |
| 職種 (経験年数) | 職 | 年 | ヶ月 |
| 保有資格等 | (NK CS-M-A-2F、MW-P-B-CS-t9-PA-ss mb 等) | | |

上記のとおり、因島技術センター配管艤装初級専門技能研修への申込みをします。

因島技術センター運営協議会 会長 林 清春 様

令和 年 月 日

代表者氏名

印

令和2年度因島技術センター配管・船装初級専門技能研修カリキュラム

| 時間 | 日程 | 2月2日(火) | 2月3日(水) | | 2月4日(木) | 2月5日(金) |
|------------|----|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| | | 合同 | 1班 | 2班 | 合同 | 合同 |
| 08:30) | | ミーティング 9時00分～入校式 | 前日の反省 ビデオ合わせ管 本日のポイント | | 説明及び準備 内海造船(株)因島工場へ移動 | 前日の反省 管一品作製 合わせ管作製 (復習) |
| 09:30 | | | | | | |
| 09:30) | | はじめに ビデオ概要① ビデオ管一品 | 管一品組立 | 合わせ管 マーキング 切断 曲げ | 管溶接実習 | 管一品作製 合わせ管作製 (座学復習) |
| 10:30 | | | | | | |
| 10:30) | | はじめに ビデオ概要② ビデオ管一品 | 管一品組立 | 合わせ管 マーキング 切断 曲げ | 管溶接実習 | 学科試験 |
| 11:00 | | | | | | |
| 11:00) | | はじめに ビデオ概要② ビデオ管一品 | 管一品仮付け リグで確認 | 合わせ管作成 | 管溶接実習 | 試験結果 研修レポート |
| 12:00 | | | | | | |
| | | 昼食・休憩 | 昼食・休憩 | | 昼食・休憩 | 昼食・休憩 |
| 13:00) | | マーキング 切断 | 合わせ管 マーキング 切断 曲げ | 管一品組立 | 現場見学 | 研修生意見発表 指導員から意見 |
| 14:00 | | | | | | |
| 14:00) | | マーキング 切断 | 合わせ管 マーキング 切断 曲げ | 管一品組立 | 現場見学 | 研修生意見発表 指導員から意見 |
| 15:00 | | | | | | |
| 15:00) | | グラインダ 曲げ準備 曲げ 切断 | 合わせ管作製 | 管一品仮付け リグで確認 | 溶接実習及び現場見学 について質疑応答 | 15:00～ 修了式 |
| 16:00 | | | | | | |
| 16:00) | | 研修総括 研修レポート | 研修総括 研修レポート | | 研修総括 研修レポート | |
| 17:00 | | | | | | |

* カリキュラムは、変更する場合があります。研修生が少数の場合、3日～5日の3日間で行います

* 全日程 8:15までに集合のこと。

1 安全保護具

- ① 安全帽（会社名・氏名を明記のこと）
- ② 安全靴
- ③ 安全帯（工場見学、船舶見学に使用します）
- ④ 脚絆（短靴を使用の場合）
- ⑤ 5本指の溶接用皮手袋
*ガス切断用及び溶接用。溶接作業以外にも使用するので5本指のものであること
- ⑥ 保護メガネ（防塵用）
*近視でメガネを使用の方はメガネ前掛けが必要です。
*コンタクトレンズを使用している人は実習時にはメガネを使用してください。
- ⑦ 耳栓
- ⑧ 防塵マスク（交換フィルター含む）

2 筆記用具

- ① シャープペンシル（HB以上の濃さ）
- ② ノート1冊
- ③ 消しゴム

3 その他

- ① タオル
- ② マスク（研修中は原則マスク着用）
- ③ 体温計（宿泊し自宅外から通われる方）